

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		平成30年7月17日(火) 18時30分~21時				
開催場所		中央公民館大会議室				
出席者	委員	20人(別紙のとおり)				
	その他	5人(相模原駅周辺まちづくり課課長以下2人、企画政策課1人、都市計画課1人、中央区役所区政策課1人)				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 事務連絡 (1) 中央地区の統計について (2) まちづくり懇談会のテーマ提出について 3 議 題 (1) 次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について (2) その他 4 閉 会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言、 は担当課の発言)

### 1 開会

牛尾会長あいさつ

### 2 事務連絡

#### (1) 中央地区の統計について

事務局から、中央地区に関する各種基礎統計をまとめた資料について、データ使用の注意点を中心に概説した。

##### 主な意見

自治会加入世帯数の減少はわずかだが、地区の世帯数が大きく増加しており、結果として自治会加入率は42%を割り込むこととなった。転入者へのアプローチを改めて考える必要がある。

#### (2) まちづくり懇談会のテーマ提出について

事務局からまちづくり懇談会のテーマ提出を依頼した。

### 3 議 題

#### (1) 次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について

ア 市役所等の移転に関する新聞報道に端を発し、第2回中央地区まちづくり会議において持ち越し案件となっていた、行政機能等再編検討業務調査について、相模原駅周辺まちづくり課から資料に基づき説明を行った後、質疑応答に移った。

##### 主な意見・質疑

再編方法決定に向け、更に検討が必要な項目として「国等の施設と併せた再編の検討」という記載があるが、この項目は既に検討が進んでいるのか。

具体的な検討は今後の話になる。行政機能の集約を考える上では、重要な検討材料になるだろう。

当該調査結果は、どのように周知されているのか。

記者発表を行ったほか、市ウェブサイト上では、相模原市発表資料として公開している。また、広域交流拠点の特設サイト上でも公開している。

行政機能等の再編に係る今後の検討の進捗については、中央地区としても注視していきたいところである。地域住民に誤解無く情報が伝わるよう、工夫してもらいたい。

庁内で検討を行った際の結果については、公表方法を検討したい。

再編に係る建設費や土地売買の費用など、直接的な費用は比較資料の中に盛り込まれているが、機能集約による業務効率化に伴って、経費が削減されるなど、間接的な効果はどのように評価していくのか。

施設規模や職員数等の条件面は、現状をベースとし、あくまで再編を行った際のハードに掛かる費用を算出、比較しているのが今回調査である。再編に伴う波及的な費用・効果については、直接的な費用と同列で比較することにはならないかもしれないが、今後検討していくことになるだろう。公表資料は、市役所等が移転した場合の跡地利用の検討もなく、老朽化等現状施設の課題や各種費用を列挙した内容であり、移転の理屈付けをするためのものとしか思えない。そもそも、財政面に不安を抱える中、なぜ移転の検討などしなければならないのか。補給廠の一部返還地は、宇宙産業の誘致などに活用すべきである。

本件は、決して移転ありきということではない。補給廠一部返還地への導入機能を検討するに当たって、現施設の老朽化の問題と併せて基礎的な調査をしたに過ぎない。

市役所等の移転を検討するのであれば、市体育館の土地を活用して、議会棟、自治会館等として高層の施設を建設し、各施設を地下道で連絡するような手法を再編パターンの一つとして盛り込んでもらいたい。

現地建替えを具体的に検討する場合には、手法の一つとして考慮する必要があると考える。また、老朽化する施設をどこまで補修で延命できるかという部分も見据えながら、建替え等に要する費用の工面についても考えていく。

今後どのように検討を進めていくことになるのか。

企画部門が中心となった全庁的な取組みの必要性が示された段階であり、具体的な検討方策や時期等は未定である。

本件は、事務方からの積み上げによって進む話なのか。それとも、市長が定めた旗印のもと、進める話なのか。

事務方からの積み上げによると考えている。

記者発表がなされている以上、市長の意向なのではないか。

公表に際しては、当然市長の了解をもらっているが、調査結果の公表と再編方針の決定は別問題であり、再編の方向性は、事務方からの積み上げによるものと考えている。市長から方向性が示されたわけではない。

移転を考えるのであれば、跡地利用による収入見込みなども検討してしかるべきだと考える。

移転した場合の跡地利用については、まだ考える段階にない。仮に移転するとなれば、住民の意見を聞きながら跡地利用について考えることになる。

公表資料では費用の捻出について示されていない。多額の支出を伴うこのような事業の実施に際して、その収入の見込み、税収を増やす方策について、どのように考えているのか。

市全体としては、まず、インターチェンジ周辺の土地区画整理事業等による新たな産業用地を税収増に繋げるべく取り組んでいる。また、相模原駅北口についても、賑わいを創出しながら税収増にも繋がるよう、まちづくりを進めている。行政機能等の再編に係る費用については、このような形で集まった税収の中から、少しずつ積み立てていく必要があるだろう。人を呼び込み、税収増につなげる取り組みが重要であり、企業誘致等に注力する必要がある。相模原駅周辺の開発についても、市役所等の移転などではなく、企業誘致に活用してもらいたい。

市役所等を現地建替えした際の積算として、土地売却費用がゼロとなっているが、一部返還地の売却益が出るのではないか。

返還地は国の財産であり、市役所等を現地建替えした場合に売却益は出ない。市が使用する場合には、購入することになる。

次期総合計画等の策定に向けた議論を行う上で、中央地区まちづくり会議の役員会としては、市役所等の現地存続を前提に進めるべきと考えている。

次期総合計画等の策定に向けた議論は、グループごとに行っている。市役所等の移転に関する考え方についても、グループごとに異なったものでいいのではないか。

この場で、市役所現地存続を前提に議論を行っていくというのは、中央地区まちづくり会議として、移転の賛否を表明するに等しい。地区を代表する本会の意味を考えると、このような形で移転の賛否を表明するのは拙速に感じる。

移転の賛否をここで示す必要はない。市役所等の移転について何も決まっていないう以上、次期総合計画等の策定に向けた議論に当たっては、現状をベースに進めていくほかないと考えている。その上で、グループごとの議論の結果として、現状の市役所等施設ありきのまちづくりに関して意見が上がり、現地存続を後押しすることになるだろう。とはいえ、移転を促すような意見も妨げるものではない。多様な意見があってもかまわない。

8年後の中央地区を考えるに当たって、市役所が移転してしまっは前提が崩れ議論にならない。移転しない前提で議論をすると言っても、再編の検討が動き出しているという情報を耳にしてしまった以上、移転の可能性を無視して議論は出来ない。かといって、現地存続を前提とする意見と移転を前提とする意見の両論が存在するのでは、地区の意見としてまとまらない。

皆さんの意見を伺うに、現地存続を望む意見が大勢だと感じており、現状をベースとした議論が最善と考えている。

多様な意見があってもかまわないとのことなので、各グループに任せてもよいが、現状をベースとして議論を行うのが妥当だろう。

本件に直接関わると思われる他地区の反応はどうか。

次期総合計画等の策定に向けた議論においては、現状をベースに進めている。移転の有無など、再編の方針等に関する意見は、特段受けていない。他地区では、本件をどの程度把握しているのか。

小山地区まちづくり会議の場では、本日の中央地区同様の説明をしている。

近々に移転することが無いのはわかっており、この場での議論は、移転しない前提で進めることとしてもらいたい。

#### 結果

次期総合計画等の策定に向けた議論に当たっては、市役所等の現地存続を前提として進めることとする。

イ 企画政策課、都市計画課、中央区役所区政策課からグループワーク実施に当たったの注意事項等を説明の後、各グループで意見交換を行い、結果を発表した。

#### 主な発表事項

##### 1 班

市体育館の立地する土地が有効活用されていない。議会棟、自治会館等として高層施設の建設を望む。

市役所さくら通りなどの整備計画が実施に移っていない。市のシンボルとなる憩いの場、プロムナード等を早期に整備してもらいたい。

市役所近辺から淵野辺公園一帯までのバス路線を整備してもらいたい。

矢部駅南口の駐輪場整備は必要。駅から多少距離があっても、公共駐輪場を整備して欲しい。

矢部駅の地下道が高齢者にとって使いにくい。エレベーターが使えるようになるといい。

矢部駅の交番設置を引き続き要望したい。

中央公民館の老朽化が進んでいる。富士見小に隣接している立地を維持するため、現地増改築を行い、駐車場の立体化により土地の有効活用にも繋げてほしい。

中央地区のシンボルである JAXA を十分に有効活用できていない。駅前の補給廠一部返還地を活用するなど、市の PR に活かして欲しい。

市営団地に空き部屋が増えている。コミュニティスペースとして活用してはどうか。

地区全体に公共のトイレ、ベンチが少ない。大通りを中心に憩いの場の整備を進めて欲しい。

博物館のプラネタリウム等の充実が望まれる。

市役所周辺の駐車場の高層化を行い、民間に貸し出すことで、収益につなげられるのではないか。

運動、ボール遊びの出来る遊び場がない。子ども達がのびのびと遊べるように、高根にスポーツ広場、淵野辺公園周辺にサッカーグラウンドなどを作ってはどうか。また、学校の校庭開放も進めて欲しい。

## 2 班

電線類の地中化の長期計画が不透明。具体的費用、期間等を盛り込んだロードマップを作成し、着実な実施に繋げてもらいたい。

生活道路の整備、バリアフリー化が不十分。高齢者にとっても暮らしやすい町になるよう、着実に整備を進めてもらいたい。

豪雨災害への備えが十分とはいえない。排水設備の改善等が必要。

避難所機能の充実が求められる。また、富士見小学校の飲料水兼用耐震性貯水槽の機能周知など、防災機能の周知改善が必要。

子どもの居場所、遊び場が不足している。学校施設の放課後利用の効率化を図るべきと考える。

公園や広場が少ない。中でも中高生の利用できる遊具・設備が少ない。そういった世代の体力増進にもつながるような設備を整備することで、限られた広場等を活用できないか。

商店街の衰退と高齢者の買い物難民化が課題。商店街の活性化策の検討と、コミュニティバスによる高齢者の買い物利便の向上を図りたい。

矢部駅南口の駅前用地を買い上げて、交番、駐輪場、コミュニティバス発着場、踏み切り整備などを検討してもらいたい。

市体育館の有効利用が出来ていない。移転も視野に入れて、跡地に高層複合施設を整備するなど、中央地区の更なる発展を図ってもらいたい。

## 3 班

矢部駅南口の駐輪場が整備されていない。JR 横浜線の高架化等を矢部駅から行うことで、駐輪場や交番を整備するための土地が確保できるのではないか。

矢部駅周辺の道路が狭いため、改善が求められる。

JR 横浜線北側の補給廠の一部返還を求め、線路沿いの道路を整備してもらいたい。矢淵陸橋の混雑改善にも寄与すると考える。

夜間、市役所さくら通りが暗い。街路灯の整備・増設をお願いしたい。

バス停に到着時刻を示す電子時刻表を整備してもらいたい。

駅や市役所等に行かないと、タクシーに乗れない。地区内に乗り場を複数作れないか。

電線の地中化については、住宅街においても進めることで、災害時の対策にもつながるのではないかと。

市体育館の高層化を考えるべき。

警察署が狭い。

郵便局等の駐車場が不足している。

郵便局と市体育館の間の道路の整備が未着手なので、進めてもらいたい。

自転車道の更なる整備を進めてもらいたい。矢淵陸橋などは、歩道が狭く自転車道も無いため、自転車での通行が非常に危険である。

自転車のヘルメット着用が義務化されたが、ほとんど着用していないように見える。市役所職員に見本を見せて欲しい。

ゴミを捨てる際のマナーが悪い。ゴミ袋有料化を検討すべきではないかと。

#### 4 班

バス既存路線の本数が少ないほか、矢部駅から富士見・相生方面へのバス路線がないため不便に感じている。バス業者への増発・新規路線設定の要望やコミュニティバスの導入が必要。

屋根やベンチが整備されていないバス停が多い。電子時刻表などと併せて整備し、利便性を高めて欲しい。

高齢者事故対策の一環として、免許返納を促す上でも、バスの割引制度の充実が必要。

国道16号線沿いに「宇宙科学研究所」というバス停があるが、施設PRを考えれば、JAXA キャンパスの近くにあったほうが良いのではないかと。

大型スーパーが少ないため、買い物施設の充実が望まれる。

地域の活性化のため、市体育館を建替えるなど、土地の有効活用をしてもらいたい。

市役所前の桜並木をより有効活用してほしい。具体的には、さくらまつりの開催期間を延長するなどにより、市のPRを充実してほしい。

電線類の地中化については、継続して要望したい。

JAXA、博物館、淵野辺公園といったエリア一帯をイベント施設等として包括的に開発、活用して、中央地区の発展に役立てて欲しい。

#### (2) その他

- ・鳥海委員から平成30年度第4回子どもと大人共に学ぶ宇宙教室のプログラムと第3回の記録誌を配付し、案内・協力依頼を行った。
- ・佐藤委員から富士見小学校サマークリーンデーの実施通知について説明し、参加依頼を行った。
- ・澤畔委員から高齢者地域情報誌を配布し、案内を行った。

4 閉会

以 上



## 第3回中央地区まちづくり会議(7月17日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	鳥海 千秋		中央地区自治会連合会	出席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
5	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
7	篠崎 久誉		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	欠席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	欠席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	山田 章		交通安全協会	出席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		地域有識者	出席
21	布施 初子		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	小澤 隆宏		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席